



PATEK PHILIPPE
GENEVE

《報道資料》 ページ 1

パテック フィリップ ジュネーブ

2021年4月12日

パテック フィリップ、究極の技術的壮举と造形美を体現したニューモデルを発表

マニュファクチュール パテック フィリップは、永久カレンダーと革新的な特許取得のインライン表示を搭載した新しいグランド・コンプリケーションを発表する (5236P-001モデル)。《クルー・ド・パリ》ベゼルを備えた著名なカラトラバは、デザインを一新し、新しい手巻ムーブメントを搭載したニューモデルが力強いカムバックを果たした (6119R-001モデルと6119G-001モデル)。またメタル・ブレスレットが一体化したラウンド型スチール・ケースのニューモデルに、特許取得の年次カレンダーが初めて搭載された (4947/1A-001モデル)。ギョシェ装飾を施したブルー・ラック塗装文字盤を備えた婦人用カラトラバ・モデルは、ケース径がひとまわり大きくなり、新たに自動巻ムーブメントを搭載した (4997/200G-001モデル)。これら一連のニューモデルは、パテック フィリップの広範な技術・ノウハウを体現しており、紳士用、婦人用コレクションの幅広いセグメントにおける継続的な発展を反映しているといえよう。

ジュネーブ最後の独立した家族経営の時計マニュファクチュール、パテック フィリップは、紳士用、婦人用タイムピースの広範なコレクションを擁することで際立っている。コンプリケーテッド・ウォッチ (現行コレクションのほぼ半数を占める) のスペシャリストであるパテック フィリップは、カラトラバ、ゴールド・エリプスなど、現代を象徴するタイムピースの創作により、時計のデザインにおいて主導的な地位を占めている。またカジュアル・エレガンスの分野でも、パテック フィリップは最前線に立ち、ノーチラスとアクアノートの2つのモデルは、真の象徴的オブジェとなっている。今日、マニュファクチュール パテック フィリップのコレクションは、12個から数百個、少量製作される約140の異なるモデルを擁しており、これらはすべて自社工房で製作される多彩な種類のムーブメントを搭載している。毎年、当社の現行コレクションはバランスよく進化、拡充を続けている。

パテック フィリップが初めて参加する《Watches & Wonders Geneva 2021》オープニング・デーの4月7日、マニュファクチュール パテック フィリップはノーチラス・コレクションの新作4つを発表した。ステンレススチール仕様の5711/1Aモデルは、オリーブグリーン・ソレイユのまったく新しい文字盤を備えている (5711/1A-014モデル)。カジュアル・エレガンスを体現するステンレススチール・ケース、オリーブグリーン・ソレイユ文字盤のノーチラスには、バゲットカット・ダイヤモンド・ベゼルを備えたモデルも発表された (5711/1300A-001モデル)。自動巻ムーブメント、2タイムゾーン、フライバック・クロノグラフ、現地日付表示を備えたノーチラス・トラベルタイム・クロノグラフ5990/1モデルは、ローズゴールド・ケースにブルー・ソレイユ文字盤を組み合わせている (5990/1R-001モデル)。同じくローズゴールドのきわめて希少なノーチラス・ハイジュエリーは、全面にブリリアントカット・ダイヤモンドがスノー・セッティングされている (7118/1450R-001モデル)。

パテック フィリップは、上記のノーチラス新作4つに加え、技術とデザインのノウハウを体現した4つのニューモデルを発表し、当社工房で発揮されているさまざまな職能の輝きに焦点を当てる。これらのデビューに続き、2021年の今年中にさらなる新作の発表も予定されている。



インライン永久カレンダー－ 5236P-001 モデル：新しいエクスクルーシブな特許取得のカレンダー表示

グランド・コンプリケーションは、卓越した時計製作技術を立証する真の分野である。パテック フィリップは、曜日、日付、月を12時位置のパノラマ式の大型表示窓に並べて表示する新しい永久カレンダーを発表し、カレンダー・ウォッチの豊かな現行コレクションをさらに充実させた。このインライン表示は、マニユファクチュール パテック フィリップの懐中時計の一部ですすでに採用されている。しかし超小型化による多くの技術的課題を克服しなければならないため、腕時計に搭載されたことは未だかつてなく、これは真の技術的壮挙といえることができる。

この独自性溢れる機能に最高の視認性と信頼性を組み合わせるため、当社技術陣は、偏心マイクロローターと、3件の技術特許を出願中の永久カレンダー・モジュールを備えた、まったく新しい超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー 31-260 PS QLを開発した。インライン表示システムは、同じ平面上に配置された4枚の回転ディスク（2枚は日付表示用）を備え、従来の永久カレンダー表示に比べて118個の追加部品が用いられている。さらに閏年サイクルと昼夜表示用の2つの小さな丸い表示窓、そしてムーンフェイズ表示窓が設けられている。

このきわめて高度なメカニズムは、完全に手作業でポリッシュ仕上げされた、直径41.3 mm、厚さわずか11.07 mmのプラチナ・ケースに収められている。外周に向かって濃くなるブラック・グラデーションのブルー文字盤に、縦サテン仕上げがさらなる輝きを与えている。時刻はホワイトゴールド植字インデックスとバトン型時・分針により表示される。折り畳み式バックルを備えたネイビーブルーのアリゲーター・バンドが、文字盤との完璧な調和を見せている。

カラトラバ《クルー・ド・パリ》 6119R-001 モデルと 6119G-001 モデル：新しいパテック フィリップの手巻ムーブメントを搭載し、デリケートにリデザインされた伝説的モデル

次のニューモデルは、偉大なクラシックのカムバックを告げる。1932年以來のすべてのカラトラバの中で、一連のモデルがとりわけ大きな熱狂をもって迎えられてきた。ベゼルにギヨシェ装飾による《クルー・ド・パリ》（ホブネイル・パターン）を施したモデルである。中でも最も著名なモデルは1985年に発表された3919モデルである。ホワイト文字盤にブラック塗装ローマ数字を配し、20年以上にわたって製作されたこのモデルは今日、時計界で最も追い求められるモデルのひとつと見なされている。

パテック フィリップは、デザインをリニューアルし、ケース径を39 mmとわずかに大きくすることにより、この象徴的モデルに新鮮な活力を与えた。ファセット（切子面）仕上げのゴールド植字《オビュ》（弾丸）型インデックスは、ひとまわり大きくなった文字盤の時を超越したピュアなデザインを強調している。ギヨシェ装飾によるクルー・ド・パリ・ベゼルは幅がわずかに広くなり、傾斜がつけられている。

このピュアで洗練されたニューモデルには、2つのバージョンがある。ローズゴールド仕様の6119R-001モデルは、グレイン仕上げのシルバー文字盤にローズゴールド植字インデックスと指針を備えている。ホワイトゴールド仕様の6119G-001モデルは、縦サテン仕上げの地に、微細な同心円模様のサブダイヤルがコントラストを見せるチャコールグレー文字盤を備え、植字インデックスと指針はホワイトゴールドである。



ニューモデルの発表は、パテック フィリップにとって、まったく新しい手巻キャリバーを導入する絶好の機会となった。キャリバー 30-255 PSはその大きな直径（ケーシング径30.4 mm）にもかかわらず、厚さは2.55 mmを保持し、きわめてスリムなケースの創作を可能にする。並列に配置された2個の香箱を備えており、エネルギー管理の新しい道を追求している。この高性能なムーブメントの連続駆動可能時間は65時間である。ストップセコンド機能が搭載されており、1秒以内の精度で時刻を調整できる。

年次カレンダー 4947/1A-001 モデル：有用なコンプリケーションを体現する年次カレンダーとして初めての、ステンレススチール・ケースとブレスレットを備えたニューモデル

このニューモデルは、マニュファクチュール パテック フィリップ最大の成功のひとつ、年次カレンダーの新しいかたちを示すものである。パテック フィリップは、1年に1回のみ日付修正が必要な、独創的な年次カレンダー機構を発明し、1996年に特許を取得した。年次カレンダーは、3種類のゴールドとプラチナ仕様により、紳士用、婦人用のさまざまなモデルが創作されてきた。しかしこの有用な年次カレンダーは、これまでステンレススチール仕様のラウンド型カラトラバ・タイプで発表されたことがなかった。どのようなサイズの手首にもフィットする、直径38 mmのケースに、ポリッシュ仕上げされたベゼルを配した新しい4947/1A-001モデルは、5列のリンクを備えた、新しい全面ポリッシュ仕上げの一体化したブレスレットと、独立した4つの止め金を備えた、特許取得の折り畳み式バックルでも際立っている。

ポリッシュ仕上げステンレススチールの輝きが、《山東絹仕上げ》とも呼ばれる、縦横サテン仕上げのエレガントなミッドナイトブルー文字盤と美しいコントラストをなしている。時刻は、ホワイトゴールドの植字アラビア数字、夜光付アワー・カボション、夜光付リーフ型時・分針により表示される。年次カレンダーは、曜日は9～10時位置、月は2～3時位置の2つのサブダイヤル、日付は6時位置の表示窓に読みやすく表示される。さらにきわめて高い精度を誇るムーンフェイズ表示を備えている。

サファイヤクリスタル・バックを通して、自動巻キャリバー 324 S QA LUの卓越したアーキテクチャーと、精緻な仕上がりを鑑賞することができる。

4997/200G-001 モデル：ひとまわり大きいケースに、新しく自動巻ムーブメントを搭載した婦人用カラトラバ

この春のニューモデルの最後を飾るのは、女性的なエレガンスを象徴する偉大なクラシックの新たな登場である。2009年に発表され、ギョシェ装飾のラック塗装文字盤と手巻キャリバー 215を備えた婦人用カラトラバ4897モデルは、ブラウン、ミッドナイトブルー、クリーム、シルバークリームなど、さまざまな文字盤カラーと、ラウンドまたはバゲットカット・ダイヤモンド・ベゼルの多彩なモデルがラインナップされてきた。この象徴的なモデルが、ひとまわり大きいホワイトゴールドのケース（35 mm、旧モデルは33 mm）に、自動巻ムーブメントを搭載して生まれ変わった。これらの新しい特徴は、手首の動きにより自動的に巻き上げられる機械式タイムピースの造形美、気品、快適さにますます関心を寄せる女性顧客層に強くアピールするものである。

希少な文字盤の製作は、多くの手作業とクラフトマンシップを必要とする。微細な放射状の波形模様の施された文字盤プレートには、透明なミッドナイトブルーのラック塗装が何層にも施されている。この装飾がデリケー



《報道資料》 ページ 4

トな奥行きある効果を生み出し、その上にパウダー仕上げのゴールド・インデックスとホワイトゴールドのファセット仕上げドフォーヌ型時・分針が浮かんでいるように見える。

ベゼルにセッティングされた76個の眩いブリリアントカット・ピュア・トップウェッセルトン・ダイヤモンド（約0.52カラット）が、文字盤に完璧な輝きを与える。

22金偏心マイクロローターが統合された超薄型自動巻キャリバー 240が、きわめてスリムでコンパクトなケースの実現を可能としている。透明なサファイヤクリスタル・バックを通して、エレガントなムーブメントのアーキテクチャーと、パテック フィリップ・シールの厳格な認定規準に準拠して施された精緻な仕上がりを鑑賞することができる。

このニューモデルの控え目な個性は、サテンの風合いを持つ、起毛仕上げのブリリアント・ネイビーブルーのカーフスキン・バンドとホワイトゴールドのピンバックルによりさらに高められている。

